

●目次

はじめに——日本の読者の方々へ 鄭義 / 3

1章 食人犠牲者たちの絶叫 / 13

●プロレタリア独裁のもとで展開された狂乱行為

プロレタリア独裁とは「階級の敵」を殺害することだ

夫の遺体に泣き崩れることは、犯罪である

全裸で吊り下げられ、陰毛を焼かれた十八歳の女性

名門・清華大学卒のエンジニア夫妻への残忍な殺人行為

小学校教師は、美人学生の心臓を狙って糾弾を要求した

食人犠牲者への補償は、肉五百グラム、ニワトリ一羽、菓子折一箱

2章 「広西大虐殺」の現場報告 / 61

●なぜ、残酷行為が公然と展開されたのか

男性性器を食べた革命委員会エリート未婚女性

お前は今夜、亭主の生首を抱きしめて寝なさい

食った人肉は地主の肉であり、特務の肉である

絶命するまで待ってくれ。性器は死んでから切断すればいい

3章 《人肉宴会》大流行 / 95

●暴君の統治下の愚民は、暴君よりもさらに凶暴だ

鄭義という人物には、極秘資料の閲覧を禁止せよ

《人肉宴会》——中学副校長は、なぜ教え子たちに食われたか

中学副校長は糾弾され、殴殺され、食べられる理由がなかった

狂乱の嵐にたった一人で立ち向かった男
私も、人肉を食べた者も、同じ文革世代なのだ
革命的人道主義の欺瞞——人間の良心を悪魔に渡す思想の悲劇
広西省から吹く風は、怨霊たちの遺恨の声だ

4章 周恩来首相への「告発状」／145

●「私は北京の元秘密黨員。一人の共産黨員の使命として……」

「告発状」執筆者は、中国共産党元秘密黨員だった
餓死者千九百九十七名——農業政策の失敗はだれの責任か
「右派分子」と宣告されて、労働改造農場へ追放
食人行為は、文革を汚し、党中央を汚した犯罪ではないか
王家三代は、現代中国史の輝かしい目撃者だ

5章 マルクス主義と孔子／181

●マルクス主義は、中国人の苦難の上にさらに苦痛を与えた

孔子思想は、歴代独裁皇帝の基盤だ
孔子は中国人の個性を抑圧し、悲惨な社会をつくった
マルクス主義は、衰退しつつある儒教に新血を注いだ
マルクス主義と中国土着の「大同思想」の共通項
労働者階級は、なぜ雑巾のように捨てられたか
マルクス主義は、中華民族を深い災難へ突き落とした

あとがき——訳者として 黄文雄／209

《著者・鄭義について》 黄文雄／212